

昇格・昇級

カテゴリー昇格 報告

----- 「関西カテゴリーⅠ昇格について」 サッカー2級審判員：堀 善仁 -----

この度、関西カテゴリーⅠに昇格させていただきましたので、報告させていただきます。



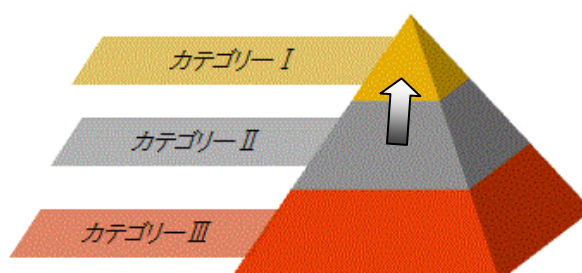
私は2級審判員に2011年11月に昇級させていただきました。その後、2013年9月に関西カテゴリーⅡに昇格することができ、現在まで関西リーグ2部、関西学生リーグ2部、プリンスリーグ等で活動してきました。その間、カテゴリーⅠの方々のレフェリングを見て、色々と勉強させていただきました。

関西リーグ1部や関西学生リーグ1部、プレミアリーグ等の副審を担当する度、早くこの試合の主審を担当したいと考えていました。そのカテゴリーに自分が昇格できた今、関西カテゴリーⅠが担当する試合を数多く担当したいと考えます。

兵庫県では、2013年の福岡、2014年の山梨、2015年の地元兵庫と3度のインターハイを経験させていただき、兵庫県高等学校新人大会の決勝、天皇杯代表決定戦の割当等、貴重な経験を数多く積ませていただきました。その経験を活かし、関西カテゴリーⅠの試合でも緊張しすぎず、いつも通りの自分を出せるようこれからも精進していきたいと思えます。

今後の目標としては、1級という目標に向けて、いただいた割当てで一生懸命自分の責任を果たしていきたいと考えます。1試合1試合を大切にすることで、自分の力となり、目標に近づけると思うからです。

兵庫県サッカー協会審判委員会の皆様、また兵庫県のサッカー審判員の皆様のアドバイスを受け、今回カテゴリーⅠに昇格できました。まだまだ成長していきたいので、今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。



―― 「2015年〈後期〉関西カテゴリーⅠ昇格について」 サッカー2級審判員：浦元 雄一郎 ――

目標！「藤田先生・高橋先生・長岡先生」を追い抜く！



この度2015年後期より関西カテゴリーⅠに昇格させて頂きましたことを報告させていただきます。

まず初めに関西サッカー協会、兵庫県サッカー協会、審判委員会の皆様、ご指導して頂いておりますインストラクターの皆様、関係各所の皆様に改めまして深く御礼申し上げます。

私は19歳から2級審判員として活動させて頂いています。2級審判員となつてからの6年間はカテゴリーⅡとして活動し、2013年後期から昨年までカテゴリーⅠで活動しておりました。

そして2015シーズンが始まる前にカテゴリーⅠからⅡに降格ということをお西委員長にお電話頂いたことを今でも鮮明に覚えております。委員長からは「ここからお前がどうするかやぞ!」とお言葉を頂きました。何気ない一言ですがその言葉のおかげで自分を見直すことができました。正直なところカテゴリーⅠで活動していた期間は無難に試合を収めることしか考える余裕がありませんでした。

なぜ余裕がなかったかを考えてみるとやはり、カテゴリーⅠの担当試合では精神面での弱さや、体力面での不安がありました。まずそこを改善しなければと思い、今シーズンが開幕する前はトレーニング方法や食生活を自分自身で見直し改善しました。するとカテゴリーⅠでの経験のおかげかシーズン前の準備が良かったのかは分かりませんが前期のカテゴリーⅡでの担当試合のパフォーマンスは自分でも感じるほど2014シーズンより向上することができました。

それがインストラクターの皆様の評価にも繋がりが、今回の昇格に至ったのかなと個人的には感じております。

今回、再びカテゴリーⅠで活動できるチャンスを得たので前回の経験を活かし、後悔のないようにいろいろなことにチャレンジし、自分らしいレフェリーをフィールドで表現できればと思っております。また昇格が決まり、普段お世話になっている上級審判員の方からご連絡があり「評価や点数は気にしないで試合当日はいつもどおりの気持ちで挑むこと。大切なのは試合までの準備」というアドバイスを頂きました。

前期はカテゴリーⅠに戻るため、精神的にも評価や点数を意識していたところでも正直あったのもう一度初心を忘れずに挑みたいと再確認することができた言葉になりました。委員長のお言葉も含めて今回のカテゴリーⅠ昇格は自分が改めて審判仲間の皆様に支えられていることも実感することができました。

今後は自分が他の審判仲間を支えられるような人間になり、そして1日でも早くカテゴリーⅠに相応しいレフェリーになれるよう日々精進していくので今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。